アクションカードの使い方

１　アクションカードとは

　　アクションカードは、学校内で救急事案が生じた場合に、行うべき行動を予め記しておき、もしもの場合に確実な対応が行えるように準備するものです。

２　使い方

　・アクションカードは救急対応時の行動を示すものと、記載し記録として使うものの２種類に分かれます。

　・救急対応時の行動を示すものは、ラミネートするなどし、何回も使用できる形にしておくことも一つの方法です。

　・記載し記録として使うものは、使用後には必ず新しいものを補充しておくことが必要となります。

　・アクションカードは、救急事案発生時に必ず職員が現場へ持って行けるようにします。

　・リーダーとなる人は、現場に駆け付けた職員に、それぞれの役割を示したアクションカードを配布します。

　・現場に集合する職員が少ない時は、1人が複数の役割を担う必要があります。

３　必要事項

　・救急対応時に必要とする資器材は、予め持ち出しやすいように準備し、アクションカードと一緒に現場に持って行けるようにしておくことが必要です。

　・どこからでも119番通報が行えるので、携帯電話を必要器材として準備することは重要です。

　・ＡＥＤ（自動体外式除細動器）は、どのような救急対応時にも現場に必ず持って行くことが重要です。

　・アレルギー疾患を要す生徒で、アナフィラキシーショックを発症した場合は、一刻も早い救急要請が必要です。

さらに、エピネフリン製剤の所持が確認できる場合は、その適正な使用が必要となります。

　・アクションカードの使用は生徒への対応時のみとは限りません。

先生も緊急を要す疾患（心筋梗塞や脳卒中等）を発症する場合があります。

　　その場合にも適正に使用することが必要です。

　・状況によっては、傷病者を担架等で保健室又は応急手当を行うに適正な場所へ搬送することも必要です。

　・判断や対応で迷う場合には、119番通報で消防署通信員の「口頭指導」を受けることも重要です。

　・日頃から、アクションカードの使用や、応急手当、さらに必要器材の搬送等、チーム編成した訓練を行っておくことが重要です。

|  |
| --- |
| 職員室での対応  ＡＣ１ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．初動対応を共有or指示する  □まず、１１９番通報する  ※分かっている情報だけでよい  ※必要な情報は、第２報（２回目の119番通報）で伝える  □現場がどこか確認し、共有する  □ＡＥＤを手配させるor自らが手配する  □校内放送で職員を現場へ向かわせる  ※　他の生徒の動揺を防ぐために、緊急性を暗号化するのも一つの手段。  応急手当の「応急」を暗号化し、「０９」など  （例：グラウンドバックネット付近で０９対応、職員必要）  ※　放送は、２～３回同じ内容を繰り返す  ２．携行し現場へ向かう  （携行器材として以下のものを全て持っていく）  □アクションカードセット  □応急手当セット  □緊急連絡先・生徒のデータ一式  □携帯電話  □ＡＥＤ（職員室に設置している場合は、一緒に持って行く） |
| 現場のリーダー用  ＡＣ２ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．職員が集合し情報共有する  □現場に到着したこと、リーダーであることを宣言  □手当をしている以外の職員を自分のところへ集める  □現場周囲が安全か確認する（傷病者の移動も考慮する）  □事故の状況を職員で簡単に共有する  ２．アクションカードを配布する  □駆けつけ時に心肺蘇生が開始されていれば、AEDを直ちに装着、又は直ちに装着することを指示する  □**119番通報カード**を渡す（職員室で既に連絡していれば、第２  報として新たな傷病者情報を消防に伝える）  □**応急手当の実施者カード**を渡す  □**周囲の生徒等への対応カード**を渡す  □**記録（救急隊に伝える内容）カード**を渡す  □**救急車の誘導カード**を渡す  ３．救急車が到着した後に行う  □記録カードを見て、救急隊員に必要事項を伝える  □状況が分かる職員が救急車に同乗する  □保護者への連絡を行う |

|  |
| --- |
| 119番通報カード  ＡＣ３ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  ※職員室にて、既に分かる範囲の内容で119番通報している場合には、以下  の対応は消防署への第２報（２回目の通報）になります。  　傷病者を実際に見ながら、又は応急手当の状況等を確認しながらの詳細な  情報は、救急隊が行う処置や搬送病院を決める上でたいへん重要です。  　可能であれば、傷病者が見える位置で、119番通報（第２報）をしてくださ  い。  １．１１９番通報し救急車を呼ぶ  　□１１９番通報では消防署通信員の質問に落ち着いて回答する  **例）この時点が初めての119番通報である場合**  ○○学校です。救急車をお願いします。  　　　　　　〇歳男児or女児（男性・女性）（何が・どうして・どうなった）（現  在は、どのように・どうなっている）  **例）第２報（２回目の通報）である場合**  　　先ほど通報した〇〇学校です。  　　〇歳男児or女児（男性・女性）、現在は（どのような）状態、職員  が応急手当（心肺蘇生等）を実施し、（どうして・どうなって）いる  状態。  **・・・通信員の質問に対し答える**  □救急車の誘導に職員等を配置することを伝える  　□１１９番通信員に手当や対応の指導を受ける  ２．報告  　□現場のリーダーに救急車を呼んだことを報告する  ※状況が変われば再度１１９番通報する！ |

|  |
| --- |
| 応急手当の実施者  ＡＣ４ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．手当の状況を確認します  ※下記の場合は、現場のリーダーに報告すること！！  □手当に必要な道具の不足  □手当を行う人数の不足  □様子が変化したとき（１１９番へ再び通報するように依頼）  □傷病者の様子や行った手当は逐次報告する  □普段どおりの呼吸か確認（呼びかけても反応がなく普段どお  りの呼吸でない場合は、胸骨圧迫開始を指示or自ら実施）  ２．心肺蘇生法を実施した場合  □２分間を目安に胸骨圧迫を交代させる  □胸骨圧迫の正確性を確認する  　○圧迫位置（胸の真ん中を胸に対し垂直に押せる位置）  　○圧迫は　強く（胸が約５ｃｍ沈み込むまで）※  　　　　　　速く（100～120回/分のテンポ）  　　　　　　絶え間なく（中断は最小にする）  ※　圧迫と圧迫の間は、胸がしっかり元の高さに戻るまで十分に力を抜く（胸から手は離さない）  □ＡＥＤ使用時の安全管理とショック回数を把握する |

|  |
| --- |
| 周囲の生徒等への対応  ＡＣ５ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．周囲にいる生徒等の状況を確認します  □周囲に生徒等がいる場合には、けが又は疾病等の傷病者や、さ  らに応急手当が開始されている状況等が目に入らないように  対応を開始する※   * 対応としては   ・生徒等を他へ誘導する  ・傷病者を他へ移動させることが困難であり、その位置が校舎の教室等から容易に生徒の視界に入る場所である場合には、衝立等を準備する。  （衝立は、青ビニールシートなどで良い）  □現場に生徒等を近づけさせない  □一人で対応できない場合は、現場リーダーに報告し、応援を  求める  **２．その他**  　　□生徒等への対応が終了し、役割が完了している場合は、その旨  をリーダーに報告し、他に手伝うべきことが無いか確認する |

|  |
| --- |
| 救急車の誘導  ＡＣ６ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．救急隊を現場に誘導します  □現場リーダーに誘導場所を確認する  　□誘導に向かうことを現場リーダーに報告する  　□入口の鍵を開け誘導場所で救急隊を待つ  □救急隊員が入ったのを確認し施錠する※  ※施錠は学校における防犯上の理由から明記しています。  　　□救急隊員を現場に誘導する  **２．その他**  　　□救急隊の誘導が終了し、役割が完了している場合は、その旨  をリーダーに報告し、他に手伝うべきことが無いか確認する |

|  |
| --- |
| 記　　録  ＡＣ７  **（救急隊に伝える内容）** |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．事故状況を記録して救急隊員に伝えます  □事故（けが）の発生時刻（　　　　：　　　　）  □内容（どこで・何をしているとき・どこが・どのようになど）   |  | | --- | |  |   □手当の内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □心肺停止の目撃　　　あり　　or　　なし  「あり」の場合  〇　目撃または音を聞いた時刻（　　　：　　　）  〇　元気だったことを最後に確認した時刻（　　：　　　）  □ＡＥＤの電気ショック回数（　　　　）回  　 注）オレンジ（ショック）ボタンを押した回数  　□傷病者情報（緊急連絡先・生徒のデータ参照）  名前　　　　　　　　　　　　生年月日  住所  　　病歴　　　　　　　　　　　　アレルギー  　□保護者への連絡の有無　　　　　有　　・　　無 |

|  |
| --- |
| 保護者への連絡  ＡＣ８ |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．保護者に連絡する  　□保護者：　　　　　　　　　　　　　　　　　　※  　　※　連絡のついた保護者を記載  　　　【連絡内容】  　　　例）（学校名）と（連絡実施者の名前）です。  ○○さんが（救急要請の理由）で、救急車を呼びました。  　　　　　これから（△△△△病院）に向かいますので、  　　　　　気をつけてお越しください。    ２．学校職員と共有する  　□保護者に連絡したことを伝える |

|  |
| --- |
| 救急車への同乗  ＡＣ９  **（病院へ搬送される時の対応）** |
| （□はチッエック欄、行った対応をチェックし確認する。）  １．持っていく物を確認する  　　□傷病者の記録    　　□自らの携帯電話    　　□筆記用具    　　□その他（各学校にて必要と考えるもの）  　　　・  　　　・  　　　・   * 救急車に同乗する先生が、病院から戻る際の交通手段について確認。 |